

平成26年10月10日

各小学校長・PTA会長 様

地島校区漁村留学を育てる会
会長 前田 浩昌
宗像市立地島小学校
校長 有馬 宏

平成27年度(第13期)漁村留学生募集のご案内

日増しに秋の深まりを感じる季節になりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来年度で13年目を迎える地島校区漁村留学制度ですが、その留学生募集については毎年、県下各小学校へご案内をさせていただいています。

つきましては、同封の募集案内を校内に掲示していただければ幸いです。また、募集案内をコピーしていただき、該当する学年の児童(現3年生・4年生・5年生)に配布いただければ助かります。どうぞご協力のほどよろしくお願ひします。

なお“昨年度留学生保護者・児童・地域の感想”や“なぎさ通信”を資料として同封しておりますのでご参考にさせていただきます。

記

- 1 受け入れ学年 平成27年度の4年生・5年生・6年生の男女(全員で6名程度)
- 2 受け入れ条件 ① 体験を通して自立性を養おうとする健康な児童
② 児童・保護者の双方が漁村留学の趣旨をよく理解し、熱意があること
- 3 留学期間 1ヶ月(平成27年4月1日～28年3月31日)
- 4 委託料 生活費として毎月4万円程度、他に各学期3万5千円程度(学校費等)
- 5 募集期間 平成26年10月1日～平成26年12月24日
- 6 説明会 平成27年1月10日(土)予定 *会場 宗像市立地島小学校
- 7 過去の実績(受け入れ人数)
 - 第1期平成15年度 5名<男2 女3>(宗像市3 北九州市1 春日市1)
 - 第2期平成16年度 6名<男4 女2>(宗像市1 北九州市1 福岡市2 古賀市2)
 - 第3期平成17年度 6名<男3 女3>(宗像市2 北九州市1 福岡市2 春日市1)
 - 第4期平成18年度 6名<男4 女2>(宗像市2 北九州市1 福岡市2 大野城市1)
 - 第5期平成19年度 7名<男5 女2>(宗像市2 北九州市1 福岡市1 古賀市1 田川市1 黒木町1)
 - 第6期平成20年度 6名<男4 女2>(宗像市2 福岡市2 うきは市1 みやま市1)
 - 第7期平成21年度 6名<男4 女2>(宗像市2 北九州市1 須恵町1 志免町1 うきは市1)
 - 第8期平成22年度 5名<男2 女3>(宗像市2 福岡市1 朝倉市1 志免町1)
 - 第9期平成23年度 5名<男3 女2>(宗像市3 北九州市1 福岡市1)
 - 第10期平成24年度 5名<男4 女1>(宗像市2 直方市1 福岡市2)
 - 第11期平成25年度 5名<男2 女3>(宗像市2 福津市1 みやま市1 千葉県1)
 - 第12期平成26年度 5名<男2 女3>(宗像市2 福津市1 福岡市1 大野城市1)
- 8 応募・問い合わせ先等
 - 「地島校区漁村留学を育てる会」事務局(なぎさの家)
TEL・FAX 0940-62-3394
 - *留守の場合・昼間 地島小学校(教頭まで)
TEL. 0940-62-1171 FAX. 0940-62-1911
 - 連絡・受付後、資料を郵送、または、FAXいたします。

地域を代表して

第11期漁村留学実行委員長
山下 秀二

この度、地島への漁村留学を考えておられる、お父さん、お母さん方。地域では関係者が一丸となり漁村留学に取り組んでいます。私の家はなぎさの家の近くですが、朝から島の人への「おはようございます」、学校から帰ってくれば、大きな声で「ただいま！」の挨拶。いつも賑やかな子どもたちの声が響いています。また、島の子どもたちとも毎日、一緒に走り回って伸び伸びと遊んでいます。

心配な一年になると思いますが、ぜひ地島への留学を考えられてはいかがでしょうか。



「親も子も共に成長できた一年間」

第11期漁村留学生保護者

私たち家族が、漁村留学のことを知ったのは、二年前、年末の西日本新聞に掲載されていた留学生募集の記事でした。主人が、夕食時に留学の話「そう言えば…」と持ち出し、娘の反応は、「行ってみたい。」と即答。「一年間だよ。」と半信半疑の私。主人は、早速資料を取り寄せ、その数日後が説明会でした。その日は、私も主人も、仕事でいられなかったため、祖父母が娘を連れて、初めて地島を訪れました。福岡県であっても、宗像へは行ったこともなく、地島の事も全く知りませんでした。祖父母と娘の印象は「何もないところ。」でした。しかし娘の気持ちは、固まったらしく、その後の手続き、申し込みは、自分で記入し、ポストの投函まで自分で行いました。

4月に転入学。留学の様子は、毎週送られてくる「なぎさ通信」が届くのが楽しみで、写真入りに、先生のコメント付きで、楽しそうな様子が伝わり、安心できました。娘からも毎週のように、手紙が届き、島での様子や、がんばっている様子、苦しんでいる様子、家族を気遣ってくれる手紙、友人あての手紙など、一年間で、100通以上の手紙を書いてくれたのではないのでしょうか。

この一年間、親子で文通を通して、素直な気持ち、普段言えない気持ちを伝えることが出来たのも、留学を通して得た宝物です。その他、留学を通して学んだ経験は数えきれません。週末は「漁村留学を育てる会」の会長さんのお誘いで、クルージングや釣り、島の散策などに連れて行っていただいたり、イカ釣り、タコ壺漁、魚のさばき方も教えてくださいました。

留学生の行事もたくさんあり、ホームスティや学校行事のほか、地域の祭り、山笠やみあれ祭にも参加させてもらいました。また、保護者の私たちも、学習参観や行事の参加など初めての事ばかりで、船に乗って島に渡るのも、とても楽しみで、島が大好きになりました。

ホームシックのひどかった娘に、子どもの立場で、いつも傍で励まし、接して下さったなぎさの先生、カメラを抱え、子供の成長を見守り、支えて下さった先生方、暖かく、さりげなく見守っていて下さった島の方々、一年間しかない留学生のために会長さんをはじめ、先生方、島の方々から大切に育てて頂き、本当に感謝しています。こんな小学校は、他にはどこにもありません。

「一年間も…」と思っていた留学生活も、振り返ってみれば、一年しかなかったと思えるほど、懐かしく思い出されます。実際、一年では物足りず、留学の延長を希望する留学生もいたほどです。

物があふれ、便利さばかりを求め、24時間、お金さえあれば何でも、いつでも手に入る時代、それが当たり前を感じているのは、子どもたちだけではなく、親の私達だという事を気付かされました。島での生活は、何もない、持たないからこそ、皆で助け合い、知恵を出し合い、工夫し、それを喜びと感じ、楽しむことが出来る。地島でなければ学べない経験です。出会いと別れを繰り返し、親も子も涙しながら成長できる一年でした。

10年後も変わらないだろう地島は、子どもたちにとって、大切なふるさとです。

留学を終えて

第11期漁村留学生 5年（留学当時）

一年間の漁村留学で、私はたくさんの経験をしました。一番楽しかったことは、島の一大イベントでもある全島大運動会です。島の方々と一緒に盛り上がる運動会はとても楽しかったです。島では、運動会だけではなく、ろこぎ体験、山笠、魚さばき、みあれ祭、文化祭、椿まつりなど、島の色々な行事に参加することができます。

留学して一番に思ったことは、支えてくださる方々のおかげで色々な体験が出来たことです。私は、「留学をしてみたい」と自分で言ったものの、実際、島に行くと、大変なことばかりでした。ホームシックになった時、島の方々や、指導員の先生、寮母さんが、いつも私に優しく声をかけ、島の色々なことを話してくださったので、私も少しずつ島に親しむことができるようになりました。

育てる会の会長さんなどにも相談に乗ってもらい、時には魚釣りに出かけ、魚のさばき方も教わり、たくさんの事を学びました。

留学では、大好きな家族と離れて、さびしい時やつらい時もありましたが、応援してくれた家族の存在や、いつも気にかけて、支えてくださった方々のおかげで、一年間乗り越えることができました。そして、今まで経験したことのない貴重な宝物を得ることができました。

一年間頑張ることが出来て本当に良かったです。

なぎと通信

2014年
10月

地島校区漁村留学制度

平成一五年度から始まった漁村留学制度は、今年で十二年目を迎えることとなりました。毎年、五、七名の留學生を受け入れ、漁村留学センター「なぎさの家」で指導員や寮母さんとともに生活を送ります。集団生活を通して、子どもたちの基本的な生活習慣や規律、助け合う心、自立心などの社会育成を目指しています。今までに漁村留学を卒業した子どもは五十五名。その多くが今でも夏休みや行事の際に島へ遊びに来ており、交流が続いています。

漁村留学十二期生の半年

指導員 竹井 ゆかり

今年は、4年生2名、5年生1名、6年生2名の計5名(男子2名、女子3名)と指導員1名がなぎさの家で共同生活を送っています。早いもので、留学期間も残り半年となりました。半年間の間に、地島の方との交流や、行事への参加などたくさんの方とを体験させてもらいました。地域の方などたくさんの方に見守っていただきながら、少しずつではありますが、子どもたちも成長しているのではないかと思います。共に協力し合いながら、いつも支えてくれている方々への感謝の気持ちを忘れずに、残りの半年間を有意義なものにして欲しいです。

楽しい留學生生活

イカ釣り体験

漁船に乗せてもらい、夜のイカ釣りへ出かけました。島の漁師さんに教わりながら、みんなでイカ釣りを楽しみ、漁師さんもびっくりするぐらいたくさんさんのイカを釣ることができました。釣ったイカは、みんなで仲良く分けて、お家に持って帰りました。



ホームステイ

年に数回ホームステイがあり、留學生だけでなく島の方のお家へ泊めていただきます。

ホームステイ先では、お手伝いやお話をしながら、いろいろなことを教えてもらい、交流を深めます。また、島の方に留學生のことを知ってもらい、とても良い機会でもあります。



地島山笠

毎年七月十五日、地島では山笠が行われます。山笠の日は、島の大人から子どもまで、朝から大忙し。子どもたちは山車の綱を引き、「わっしょい！わっしょい！」という掛け声とともに、町内を一生けん命に駆け回り、島の方々も、「がんばれ！」と笑顔で応援してくれます。

島の方々と一緒にみんな汗水を流しながら、とても良い体験をさせてもらいました。



全島大運動会

九月二七日、全島大運動会が行われました。地島小学校の運動会は、島全体で行われるため、多くの人に参加し、子どもから大人まで楽しむことができます。小学生は一輪車やソーラン節などこの日のためにたくさん練習をします。特に一輪車は、初めは乗れない子どももいましたが、本番ではみんな乗れるようになり、運動会を通して、子どもたちの成長を見ることができました。

